

日米投信概況

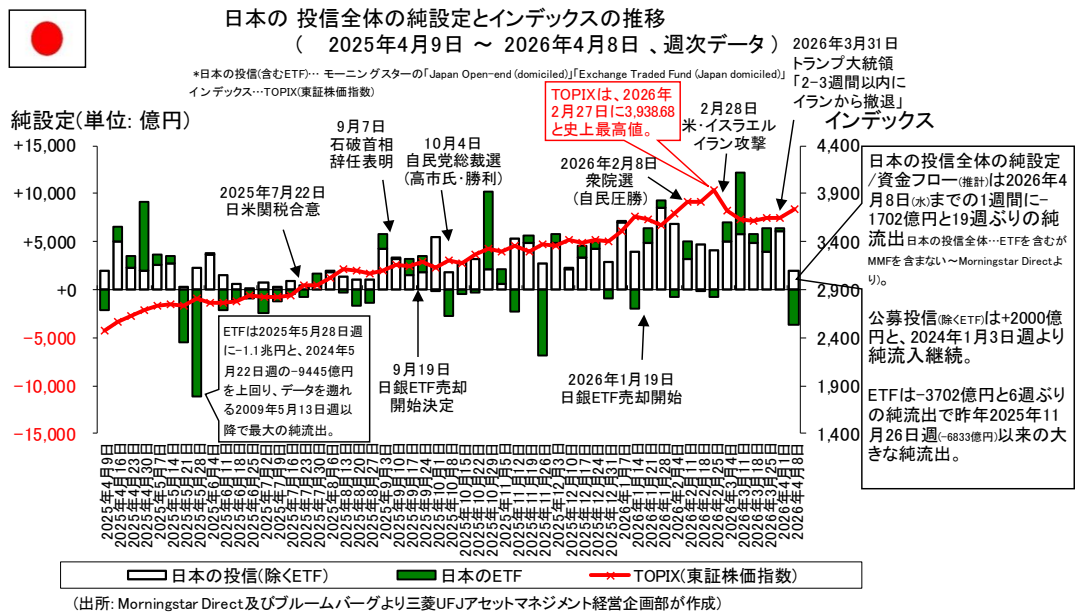
イラン戦争下、米国では防衛&宇宙株とAI株のETFが巨額設定・解約(ハートビート取引)を起ししながら堅調な流入!!~世界のテクノロジー株・防衛&宇宙関連株・AI関連株ETFの日次純流出入~

三菱UFJアセットマネジメント株式会社 経営企画部 松尾健治 (シニアリサーチアナリスト) 窪田真美 (シニアリサーチアナリスト)

- 日本で投信が19週ぶり純流出! 戦争終結協議は合意せず(数日以内に第2回協議?).....p.1
● 米国で投信が41週連続純流入! イラン戦争下、防衛&宇宙株とAI株のETFが巨額設定・解約(ハートビート取引)を起ししながら堅調な流入!!~世界のテクノロジー株・防衛&宇宙関連株・AI関連株ETFの日次純流出入~.....p.3

●日本で投信が19週ぶり純流出! 戦争終結協議は合意せず(数日以内に第2回協議?)

日本籍の投信全体の純設定/ファンド(マネー)フロー推計は2026年4月8日(水)までの1週間に-1,702億円と19週ぶりの純流出(日本籍投信全体...ETFを含むがMMFを含まない~Morningstar Directより)。公募投信(除くETF)は+2,000億円と、2024年1月3日週より純流入継続も、昨年2025年11月5日週(+539億円)以来の小さな純流入。ETFは-3,702億円と6週ぶりの純流出で、昨年2025年11月26日週(-6,833億円)以来の大きな純流出。



先週はイラン戦争終結に向けた協議の進展があった為、株価も堅調だった(2026年2月28日に始まった戦争は3月31日にトランプ米大統領がイランとの戦闘を終わらせ撤退する可能性があるとして2-3週間以内との見通しを示し、2026年4月7日に2週間の停戦を合意し戦闘終結に向けた対面協議がパキスタンで2026年4月11日-12日に行われた)。ただ、2026年4月11日(土)-12日(日)に仲介役パキスタンの首都イスラマバードで行われた米国とイランの戦争終結に向けた対面協議(米国: バンス副大統領など、イラン: ガリバフ国会議長・アラグチ外相など、パキスタン: シャリフ首相・ダール副首相兼外相など)が合意に至らず終了した。協議後、バンス米副大統領は「我々は極めてシンプルな提案を置いていく。これが米国の最終的かつ最善の提案だ。イランがこれを受け入れるかどうか、様子を見ることになる。」、イラン外務省のバガエイ報道官は「当然、最初から1回の会合で合意に達すると期待すべきでなかった。」、仲介国パキスタンのダール副首相兼外相は「建設的な話し合いだった。双方に停戦維持を呼びかけた上で、今後数日間も仲介を続ける。」と述べた。

米国とイランの戦争終結に向けた対面協議が合意に至らず終了した数時間後にトランプ米大統領は「ホルムズ海峡の全面的な海上封鎖を開始する。イランが抵抗した場合には報復する。」と述べ、米中央軍は4月13日(月)の米国NY時間午前10時から封鎖を開始すると発表した。軍は「アラビア湾およびオマーン湾のすべてのイラン港湾を含む、イランの港湾や沿岸地域に出入りするあらゆる国の船舶に対して、公平に実施される。」と述べた。

しかし4月12日の米国ウォールストリートジャーナル/WSJが「関係筋によると、米国とイラン双方から強硬な声明が出されているものの、さらなる外交交渉への扉は開かれたままであり、**数日以内に第2回会談**が開催される可能性もあるという/Despite defiant statements from the U.S. and Iran the door remains open for further diplomacy and **a second round of talks could be held within days**, the officials said。また、地域諸国は、2026年4月7日(火)遅くに発表された不安定な**2週間の停戦期間の延長**を確保する為、米国と協議を行っているとも述べた/Regional countries were also in consultation with the U.S. to secure **an extension of the fragile two-week ceasefire period** announced late Tuesday, they said。」と報じていた(※調査下線は当レポート筆者、2026年4月12日付WSJ/Door for

Diplomacy With Iran Remains Open」～ <https://www.wsj.com/coverage/iran-war-latest-news-israel-us-iranian-2026/door-for-diplomacy-with-iran-remains-open-TheCZKA33qz1r3Max2K>)

公募投信(除くETF)の2026年4月8日週の純設定額+2,000億円について分類別に見る。

純流入1～5位はグローバル株、米国株、マルチストラテジー、その他アロケーション、グローバル株(除く日本)。

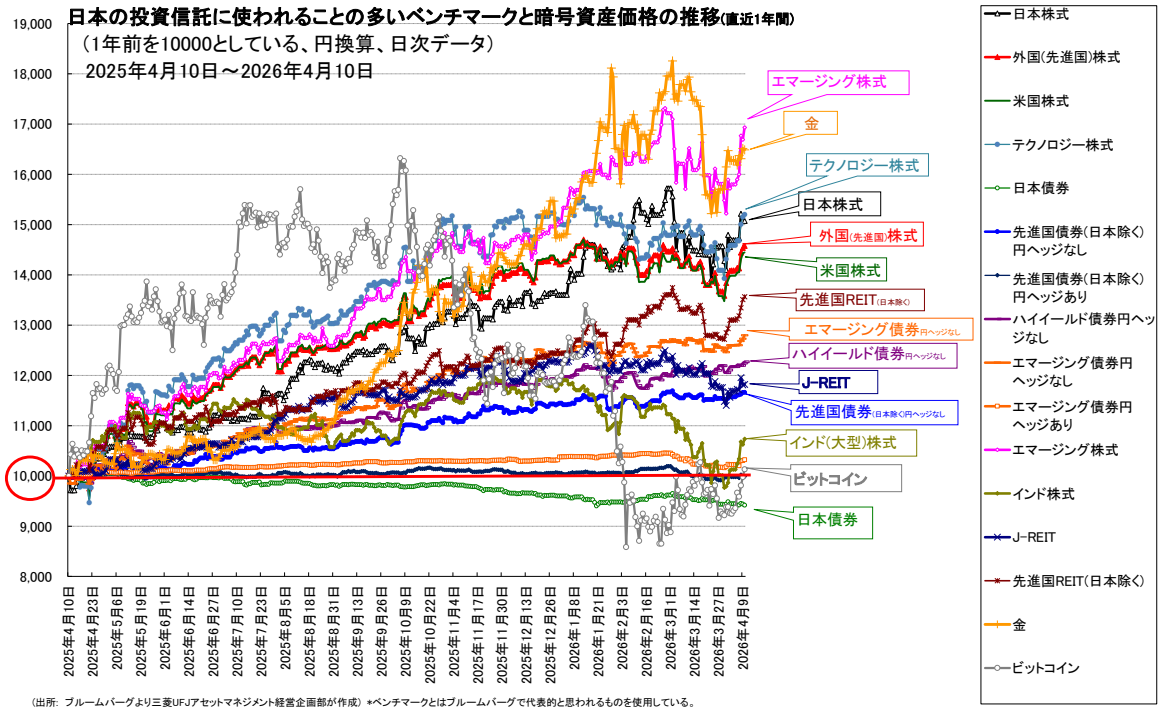
純流出1～3位は日本株大型ブレンド、トレーディングレバレッジド/インバース、欧州株。

● 日本の投信の分類別週間純流出入(純流入の大きい順) 2026-04-08現在
 *ETF・MMFを含まない。週次推計の為、月次のものとは異なる。

順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万円)	純流入 前週 (百万円)	純流入 4週計 (百万円)	純資産 (百万円)	備考 (和訳は三菱UFJアセットマネジメント経営企画部)
上位 10 分類 ↑	1 World Equity	+143,021	+142,566	+553,281	29,325,779	グローバル株
	2 US Equity	+78,479	+49,173	+167,364	31,845,364	米国株
	3 Multistrategy	+50,621	+3,741	+60,571	1,063,416	マルチストラテジー
	4 Other Allocation	+18,096	-1,022	+7,589	821,768	その他アロケーション
	5 World ex-Japan Equity	+14,806	+63,258	+134,743	17,283,036	グローバル株-日本を除く
	6 World Specialty Equity	+12,414	+15,484	+41,292	5,612,703	グローバル・特定テーマ/セクター株
	7 Moderately Aggressive Allocation	+10,731	+23,261	+67,812	5,819,211	モデレート・アグレッシブ・アセットアロケーション
	8 Japan Large-Cap Value Equity	+8,536	+16,886	+52,470	2,596,307	日本株大型バリュー
	9 Aggressive Allocation	+7,355	+13,748	+44,739	1,380,684	アグレッシブ・アセットアロケーション
	10 Sector Equity Technology	+6,166	+19,156	+145,559	9,836,639	テクノロジー株
↓ 下位 10 分類	15 Japan Specialty Equity	+2,522	+7,887	+21,459	814,453	日本・特定テーマ/セクター株
	20 Japan Small/Mid-Cap Blend Equity	+379	+2,588	+8,690	406,612	日本株中小型株ブレンド
	73 Japan Large-Cap Growth Equity	-3,244	+53,209	+156,306	9,815,476	日本株大型グロース
	75 Japan Small/Mid-Cap Growth Equity	-6,813	-51	-5,965	1,143,115	日本株中小型株グロース
	76 World ex-Japan Bond - JPY Hedged	-6,823	-145	-8,168	940,838	グローバル債-日本を除く-円ヘッジ
	77 US High Yield Bond	-7,777	+2,390	-6,397	1,570,874	米国・ハイイールド債
	78 World REIT	-8,510	+4,334	-1,329	2,016,999	グローバルREIT
	79 US Bond	-8,731	+1,679	-5,261	755,237	米国債
	80 World Bond - JPY Hedged	-9,266	-230	-12,197	1,667,227	グローバル債-円ヘッジ
	81 Europe Bond	-10,897	+162	-10,394	72,691	欧州債
	82 Global Emerging Markets Bond	-16,939	+925	-14,065	292,886	エマージング・グローバル債
	83 Europe Equity	-18,103	+34	-17,686	299,628	欧州株
	84 Trading - Leveraged/Inverse	-20,139	+5,117	+4,131	713,744	トレーディングレバレッジド/インバース
	85 Japan Large-Cap Blend Equity	-29,194	+39,770	+87,015	8,293,031	日本株大型ブレンド
	全85分類の合計	+200,054	+615,828	+1,701,504	182,030,376	
	指数名	リターン※ 最新週(%)	リターン※ 前週 (%)	リターン※ 4週 (%)		
	TOPIX (東証株価指数)	+2.84	+1.52	+3.06		
	S&P500	+3.17	-0.23	+0.19		
	MSCI ワールド	+3.19	+0.37	+0.94		

(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント経営企画部が作成)

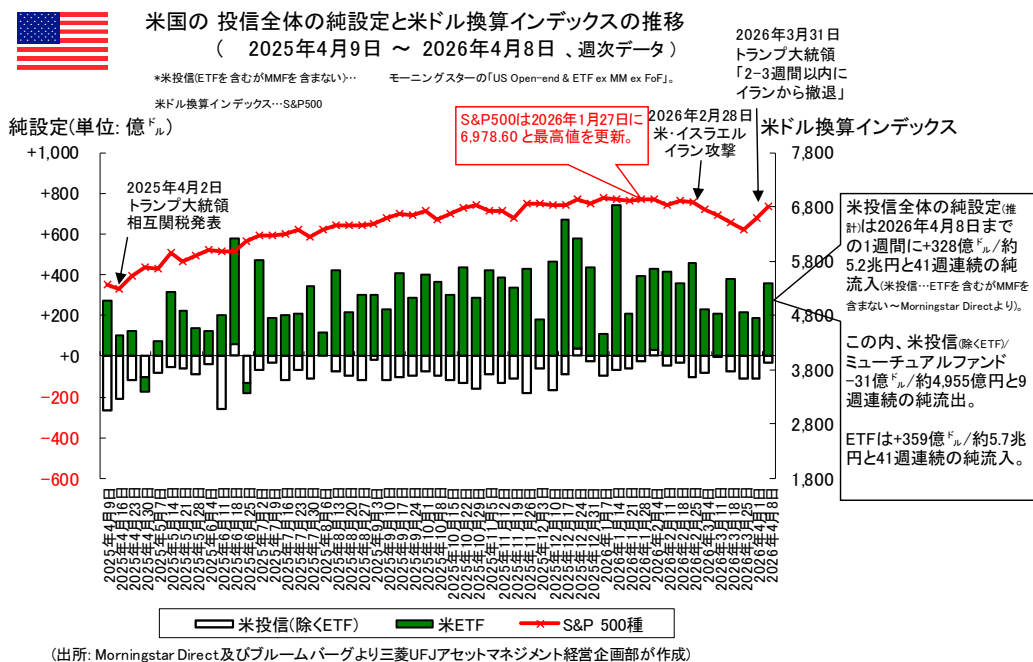
※現地通貨(MSCI ワールドは米ドルベース、配当込み指数。



●米国で投信が41週連続純流入！ イラン戦争下、防衛&宇宙株とAI株のETFが巨額設定・解約(ハートビート取引)を起こしながら堅調な流入!! ~世界のテクノロジー株・防衛&宇宙関連株・AI関連株ETFの日次純流出入~

米国籍投信の週次純設定/ファンド(マネー)フロー推計は2026年4月8日までの1週間に+328億ドル/約5.2兆円と41週連続の純流入(米投信…ETFを含むがMMFを含まない~Morningstar Directより)。この内、米投信(除くETF)/ミューチュアルファンドは-31億ドル/約4,955億円と9週連続の純流出。一方、ETFは+359億ドル/約5.7兆円と41週連続の純流入(継続的なミューチュアル

ファンドの純流出とETFの純流入にはミューチュアルファンドからETFへのコンバージョン/転換も寄与…2023年11月27日付日本版ISAの道その39「アクティブ運用型ETFが米国を中心に世界で急増!」~ https://www.amufc.jp/report/investigate/oshim_231127_01



2026年4月8日週の投信全体(含むETF、除くMMF)純設定額を分類別に見る。

純流入1~3位は米国大型ブレンド株(S&P500連動など)、米国超短期債、米国大型バリュー株(債券が+134億ドルと前週4月1日週の+85億ドルから大幅増、**セクター株は+19億ドルと3週ぶり純流入**)。

純流出1~3位は、トレーディングレバレッジ株式(ブル型)、米国小型ブレンド株、米国中型グロース株。



米投信の分類別週間純流出入(純流入の大きい順)

2026-04-08現在

***ETFを含むがMMFを含まない。週次推計の為、月次のものとは異なる。**

順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万ドル)	純流入 前週 (百万ドル)	純流入 4週計 (百万ドル)	純資産 (百万ドル)	備考 (和訳は三菱UFJアセットマネジメント経営企画部)
上位 10分類 ↑	1 Large Blend	+14,753	+9,661	+35,374	5,307,394	米国大型ブレンド株(S&P500連動など)
	2 Ultrashort Bond	+7,507	+1,154	+24,458	491,775	米国超短期債
	3 Large Value	+2,810	-1,275	+2,208	1,598,528	米国大型バリュー株
	4 Foreign Large Blend	+2,323	-211	+8,397	1,543,466	外国大型ブレンド株
	5 Technology	+2,197	-1,048	+917	503,228	米国テクノロジー株
	6 Corporate Bond	+1,396	-412	+400	201,214	社債
	7 Diversified Emerging Mkts	+1,222	+1,414	+566	717,391	グローバル・エマージング株
	8 Long Government	+1,218	-516	-1,066	145,699	米国長期国債(6年超)
	9 Short Government	+1,031	+484	+2,421	85,174	米国短期国債
	10 Mid-Cap Blend	+1,024	+527	+4,958	481,712	米国中型ブレンド株
下位 10分類 ↓	19 Commodities Focused	+563	+289	-6,836	350,372	商品・フォーカス
	35 Digital Assets	+123	-268	+701	116,060	デジタル資産(ビットコイン等)
	43 Japan Stock	+71	-569	-794	50,343	日本株
	110 Large Growth	-188	-1,368	-1,414	2,063,951	米国大型グロース株
	115 Europe Stock	-525	-695	-2,264	110,719	欧州株
	116 Small Value	-589	+210	-609	260,639	米国小型バリュー株
	117 Intermediate Core-Plus Bond	-699	+179	+1,484	664,118	米国中長期コアプラス債
	118 India Equity	-700	-386	-2,181	14,227	インド株
	119 Intermediate Core Bond	-891	-1,829	+120	747,510	米国中長期コア債
	120 Equity Energy	-1,019	+2,445	+1,929	74,780	エネルギー株(非MLP)
	121 Consumer Defensive	-1,177	-22	-1,559	27,536	ディフェンシブ消費財株
	122 Mid-Cap Growth	-1,300	-439	-4,030	312,069	米国中型グロース株
	123 Small Blend	-1,772	-492	+120	522,704	米国小型ブレンド株
	124 Trading--Leveraged Equity	-3,794	+3,639	-208	123,230	トレーディングレバレッジ株式(ブル型)
全124分類の合計		+32,820	+7,334	+80,992	22,771,507	
指数名		リターン※ 最新週(%)	リターン※ 前週 (%)	リターン※ 4週 (%)		
TOPIX (東証株価指数)		+2.84	+1.52	+3.06		
S&P500		+3.17	-0.23	+0.19		
MSCI ワールド		+3.19	+0.37	+0.94		

(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント経営企画部が作成)

※現地通貨(MSCI ワールドは米ドル)ベース、配当込み指数。

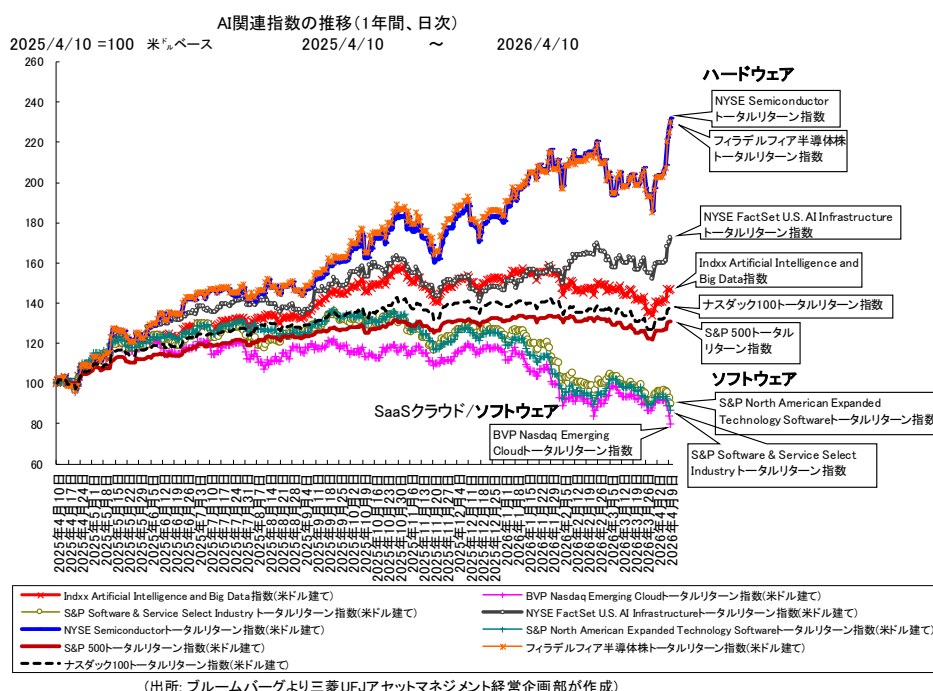
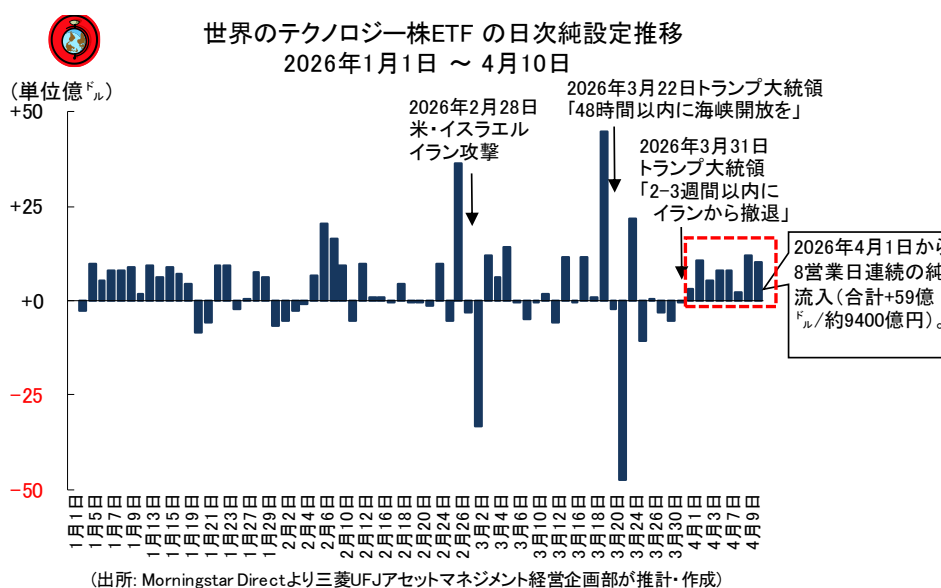
日本株は+7,100万ドルと3週ぶり純流入。金ETF等の「商品・フォーカス/Commodities Focused」は+6億ドルと前週から倍増し2週連続純流入(←4月1日週+3億ドル←3月25日週-34億ドル~2009年6月以来で3番目に大きな純流出←3月18日週-43億ドル~2009年6月以来で最大の純流出)。

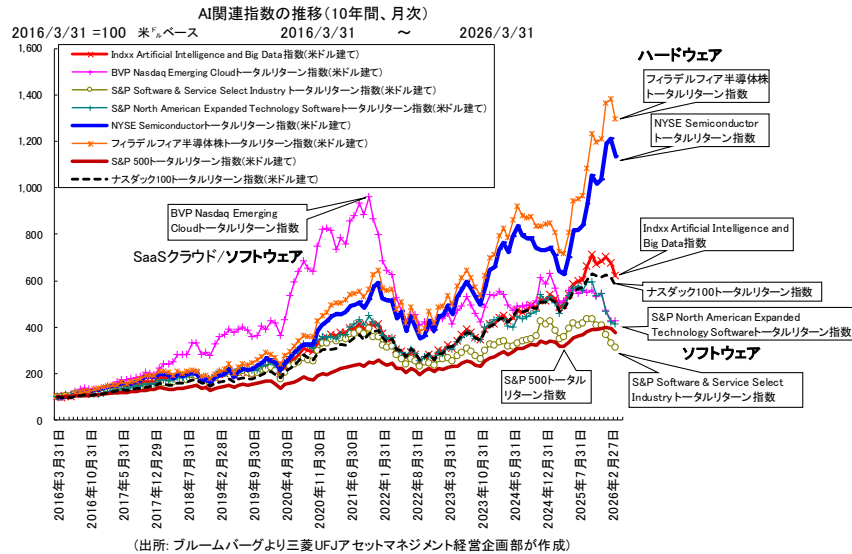
米国テクノロジー株は+22億ドルと3週ぶり純流入。全124分類中5位、セクター株で最大。純流入額+22億ドルは2月11日週(+24億ドル)以来8週ぶりの大きさ(←4月1日週-10億ドル←3月25日週-10億ドル←3月18日週+8億ドル... (略) ...←2月11日週+24億ドル)。

世界のテクノロジー株・防衛&宇宙関連株・AI関連株ETFの日次純流出入を見る。2026年1月からの約3か月強だが、中東紛争が急展開する場面では、テクノロジー株ETFのフローへの影響は、後述する他のセクターに比べ、より直接的であるように見える。日本欄で書いた通り、2026年3月31日にトランプ大統領が2-3週間以内にイランから撤退の可能性を示した後、**2026年4月1日から世界のテクノロジー株ETF全体は8営業日連続の純流入となった**(合計+59億ドル/約9,400億円)。

純流入最大のテクノロジー株ETFは米国籍「VanEck Semiconductor ETF(SM)」で+23億ドル。 VanEck Semiconductor ETFのセクター比率は半導体95.8%とハードウェア企業へのウェイトが極めて高く、ソフトウェアは4.2%と**AIブームで恩恵を受けるハードウェア関連株**である(AI関連株…2026年3月30日付投信調査コラムNo.44「AIは価値を生み出し富を投資家に集中～対策が米国のトランプ

口座、インドのデジタルウォレット(SIP)、日本のこどもNISA、ドイツの早期スタート年金！世界のAI関連株式ファンド(含むETF)のフロー～https://www.um.f.uj.ac.jp/report/investigate/volnum_200330.pdf)。同ETFは2026年4月は10日時点で+13.95%というリターンとなっている(Bloomberg)。一方、4月1日以降の純流出が最も大きかったのは、「CSOP Hang Seng TECH ETF(3033)」で-4億ドル。中国のテクノロジー産業を代表する30銘柄で構成されるハンセン・テック指数に連動するETFで、セクター比率はインターネット・メディアサービス30.5%、自動車16.8%、eコマース12.7%、テクノロジー機器11.8%などソフトウェア企業へのウェイトが高く、2026年4月は10日時点で+4.69%というリターンとなっている。

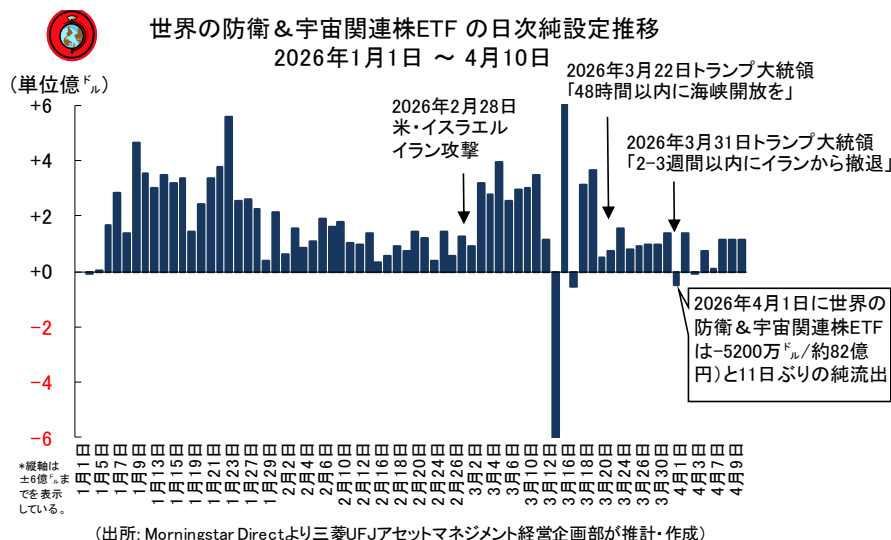




なお、テクノロジー株ETFはほぼ同じ規模の大きな純流入(設定)と純流出(交換)が短いスパンに起きる事がある。2026年も米国とイスラエルがイラン攻撃を開始した2月28日前後と、トランプ米大統領が「もしイランが48時間以内にホルムズ海峡を脅威無しで開放しなければ、米国はイランの発電所を攻撃する」と通告した3月22日前後(3月19日と3月23日)に見られた。後者の2026年3月19日における純流入トップと3月23日純流出トップのテクノロジー株ETFは、上述の米国籍「VanEck Semiconductor ETF(SMH)」で、それぞれ+30億ドルと-38.5億ドル。ベンチマークは「MVIS US Listed Semiconductor 25 (TR Net)」で、**指数入れ替えが3月と9月の年2回あって今年3月20日に実施され2銘柄が除外され2銘柄が採用された**。除外される現物を売却するとキャピタルゲイン課税(キャピタルゲイン分配/キャピタル・ディストリビューション/capital gains distribution)が発生するため、これを回避する目的で現物交換(解約)/in-kind redemptionが用いられる。この過程で、キャピタルゲインの発生を最小限に抑えるべく、「ハートビート取引/Heartbeat Trade」とも呼ばれる巨額の設定・解約が起こる

(2024年3月11日付投信調査レポートNo.411「日本では北米株が純流入トップ、2024年は既に約1.3兆円! 米国では債券が3年ぶり大きな純流入!」ハ
 イテク株の巨額純流出はインデックス・リバランスでのキャピタルゲイン発生を回避する為) ~ https://www.am.mof.go.jp/report/investigate/report_240311.pdf)

続いて世界の防衛&宇宙関連株ETFだが、イランへの攻撃が開始された3月は純流入が増加傾向となった。イランから米国が撤退する可能性をトランプ大統領が示した翌日、2026年4月1日に世界の防衛&宇宙関連株ETF全体では-5200万ドル/約82億円と11日ぶりの純流出となったものの、小幅で、翌日には純流入へ戻し、その後も純流入が続いている(2026年3月13日の大きな純流出について、個別でみて最大は「iShares US Aerospace & Defense ETF」-15億ドル。直後3月16日の大きな純流入について、最大は「iShares Defense Industrials Active ETF」+21億ドルだった)。

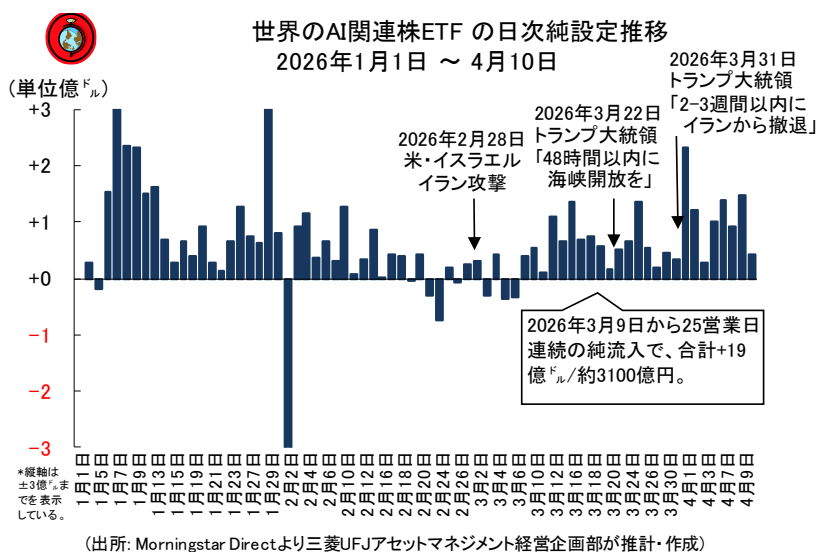


最後に、**世界のAI関連株ETFだ。2026年3月6日以降、26営業日連続の純流入**で、4月10日までの合計+24億ドル/約3760億円と堅調な純流入が続く。2026年3月31日、「チャットGPT/ChatGPT」で有名なAI研究・開発企業の米オープンAI/OpenAIは過去最大規模となる1,220億ドルの資金調達を完了したと発表した(<https://openai.com/ja-jp/index/accelerating-the-next-phase-ai/>、米オープンAIについて

では2026年4月13日付投信調査コラムNo.442「米国資産運用業のAI活用～AIファイナンシャルアドバイザー(ブラックロック、バンガード、バンカム、リルリンチ、アルトルイスト、オリオン、パブリック)、AI株式分析エージェント(プロキャップ)、ロボアド vs AI～」(<https://www.am.mufg.jp/report/investigate/>)。

米国ブルームバーグ/Bloombergは2026年4月1日に「オープンAI株についてアーケ・インベストメント・マネジメント創業者のキャシー・ウッド氏は『ARKイノベーションETF(ARKK)』など3本のETFにそれぞれ約3%を保有する予定と述べている。この動きは、オープンAIやスペースX/SpaceXと言う注目度の高い非上場企業へのアクセスを求める投資家の需要が高まっている事を反映している。」と報じていた(2026年4月1日付Bloomberg「Ark ETFs to Add OpenAI Stake as Retail Investors Chase Tech Boom」(<https://www.bloomberg.com/news/articles/2026-03-31/ark-etfs-to-add-openai-stake-as-retail-investors-chase-tech-boom>))。

Chase Tech Boom」(<https://www.bloomberg.com/news/articles/2026-03-31/ark-etfs-to-add-openai-stake-as-retail-investors-chase-tech-boom>)。



以 上

三菱UFJアセットマネジメント【投信調査コラム】日本版ISAの道(及び投信調査レポートの一部)のバックナンバー:

「 <https://www.am.mufg.jp/report/investigate/> 」。

三菱UFJアセットマネジメント株式会社 経営企画部シニアリサーチアナリスト

松尾 健治(kenji-matsuo@am.mufg.jp)、

窪田 真美(mamil-kubota@am.mufg.jp)。

本資料に関してご留意頂きたい事項

■本資料はNISA(少額投資非課税制度)など内外の資産運用に関する情報提供のために、三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

■本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。

■本資料中の運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆様の実質的な投資成果を示すものではありません。市況の変動等により、方針通りの運用が行われない場合もあります。

■本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の筆者の見解です。

■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

■投資信託は値動きのある有価証券を投資対象としているため、当該資産の価格変動や為替相場の変動等により基準価額は変動します。従って投資元本が保証されているわけではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

本資料中で使用している指数について

TOPIX(東証株価指数)に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。

MSCI ワールド インデックス、MSCI ジャパンに対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

「日経平均株価」に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。

NYSE FactSet U.S. AI Infrastructure Indexは、ICE Data Indices, LLCによって公表されている指数です。

ICEは、ICE Data Indices, LLCまたはその関連会社のサービス/商標です。これらの商標は、本指数を利用する金融商品に関連して三菱UFJアセットマネジメント株式会社が使用するために、各インデックスとともにライセンスが付与されています。

三菱UFJアセットマネジメント株式会社および本指数を利用する金融商品のいずれも、ICE Data Indices, LLC、その関連会社または第三サプライヤー(以下「ICEデータおよびそのサプライヤー」といいます)によって後援、承認、販売、または宣伝されるものではありません。ICEデータおよびそのサプライヤーは、証券全般、特に本指数を利用する金融商品への投資の妥当性、または一般的な市場のパフォーマンスを追跡するインデックスの能力について、いかなる表明または保証も行いません。インデックスの過去のパフォーマンスは、将来の結果の指標または保証するものではありません。ICEデータおよびそのサプライヤーは、指数、指数データ、およびそれらに含まれる、関連する、またはそこから派生する情報(以下「指数データ」)を含む、商品性または特定の目的または用途への適合性の保証を含む、明示および/または黙示を問わず、すべての保証および表明を否認します。ICEデータおよびそのサプライヤーは、当インデックスおよび指数データの妥当性、正確性、適時性、または完全性に関して、いかなる損害または責任も負わないものとし、お客様の使用はお客様ご自身の責任で行われるものとし、

ブルームバーグ(BLOOMBERG)は、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピー(Bloomberg Finance L.P.)の商標およびサービスマークです。



三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人資産運用業協会